



もっと知りたい、自分の街のこと。
みやこのじょう

新 城

幸せ上々、みやこのじょう
日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

No. 37

■ 令和5年5月15日発行
■ 編集／広報広聴委員会
■ 発行／都城市議会

市議会 だより



県立都城西高校のみなさんとの意見交換会の様子

to the NEXT PAGE

10
ページ

都城市議会初 オンライン議会報告会

11
ページ

高校生との意見交換会

市政を問う(一般質問) P2~3

常任委員会の審査状況 P4~7
(当初予算・条例・請願)

令和5年3月定例会の審議内容 P8~9

曾於市議会との合同研修会・
総務委員会行政視察報告 P12

監査委員紹介 P14

都城市議会
ホームページ

都城市議会

検索



都城市議会
Facebook



YouTube 都城市議会
公式チャンネル



- 1 議員が市長などに対し、市の政策や各事業などについて、その方針や市の見解などを問うことです。
- 2 申し合わせにより、議長・副議長・監査委員は一般質問を行いません。
- 3 質問した順に掲載しています。 ※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



5

立憲民主
羽田野 徳寿

動画QRコード



- 1 トルコ・シリア大地震の被災状況から本市の住宅耐震改修について
- 2 人口減少対策事業について



1

自由民主党有志会
小玉 忠宏

動画QRコード



- 1 民間に移譲した温泉施設の温泉券利用について
- 2 ふるさと産業推進局長が12月議会で行使した反問権について
- 3 教育が抱える課題解決のため、教育委員を増強することについて



6

青雲
迫間 輝昭

動画QRコード



- 1 高崎町土地改良(谷川用水崩落)での影響について
- 2 原村危険物捨場埋立跡地の活用について
- 3 都城市高崎一般廃棄物最終処分場跡地の活用について
- 4 飼料、粗飼料、資材高騰での畜産への影響について



2

令和創生
楠見 千穂子

動画QRコード



- 1 県内の性感染症梅毒の急激な増加に対する対策について
- 2 带状疱疹ワクチン接種費用の半額助成について
- 3 中堅所得者用都城市特定公共賃貸住宅について



7

日本共産党都城市議団
森 りえ

動画QRコード



- 1 特別な支援が必要な児童・生徒への支援の課題について
- 2 パートナーシップ宣誓制度について



3

自由民主党有志会
徳留 八郎

動画QRコード



- 1 新環境政策条例の制定について
- 2 人口減少対策として、小・中学校の給食費の段階的無料化について



8

公明
坂元 唱子

動画QRコード



- 1 子ども・子育て支援について
- 2 市民の健康増進のための支援について
- 3 生理の貧困問題について



4

公明
音堅 良一

動画QRコード



- 1 こども家庭庁の発足について
- 2 完全無料化の事業について
- 3 デジタル田園都市国家構想交付金の事業について

市政を問う



13

一心会
岩元 弘樹

動画QRコード



- 1 学校給食の食器について
- 2 ヘルプマークについて



9

令和創生
別府 英樹

動画QRコード



- 1 不登校の子どものための居場所づくりと学校の働き方改革について



14

青雲
神脇 清照

動画QRコード



- 1 スポーツ推進について
- 2 祝吉地区の懸案事項について



10

一心会
赤塚 隆志

動画QRコード



- 1 本市の道路交通網及び関連施設等の整備について
- 2 子供たちの安全・安心な通学路の確保について
- 3 保育料無料化について



15

令和創生
中村 千佐江

動画QRコード



- 1 こども家庭庁設置に向けた本市の取組について



11

日本共産党都城市議団
畑中 ゆう子

動画QRコード



- 1 コロナ禍における生活保護利用者の状況について
- 2 高すぎる国民健康保険税の改善について
- 3 高校生への就労支援について



16

立憲民主
筒井 紀夫

動画QRコード



- 1 公立中学校における部活動について
- 2 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について



12

公明
綿屋 善明

動画QRコード



- 1 本市の森林保全と農業政策について
- 2 学校における医療的ケア児支援事業について

人口減少対策

10年後の人口増を目指す、人口減少対策の一環として実施されるものです。このうち、社会増対策として「移住・定住推進事業」、また、自然増へつながる取組として、「婚活サポート事業」、「若者交流促進事業」や「若者の出会いと雇用コンシェルジュ」などの事業費を計上するものです。

質疑・答弁

問 「移住・定住推進事業」の「移住応援給付金」について、中山間地域への移住に対する加算が100万円と手厚いが、「立地適正化計画」「都市計画マスタープラン」など、居住誘導区域を設定した「コンパクトなまちづくり」の方針との整合性は？

答 それぞれの地域に拠点を設けて人口を集積し、ネットワークで結び計画はある。その一方で、中山間地域の人口減少に歯止めをかける対策が喫緊の課題であると考えたことから、今回、加算を設けるものである。

自由討議

いろいろな出会いの場があっても、参加するまでに勇気がある。背中を押してくれる世話的な存在が重要では、という意見や、婚活

支援団体の存在を含め、様々な支援情報を求める人にいかに届けるかがポイントといった意見、さらに、「移住・定住推進」の観点も踏まえ、本市の範囲を超えた取組があるといいのでは、といった意見が出された。

自由討議に対する再質疑

問 現在の事業における婚活支援団体の概要と、市の範囲を超えた取組は？

答 「都市圏外移住応援団」には30団体が登録され、婚活やペアリング事業等を行っている。平成28年度からこれまでに17組の成婚が報告されている。イベント等の参加者募集は、市を超えて実施している。

スマートシティ関連事業

「デジタル化推進事業」のひとつとして、デジタル技術を活用した認知症予防に取り組みつつ、スマートシティの基盤となるデータ連携基盤を構築する「スマートシティ関連事業委託料」を計上するものです。

質疑・答弁

問 どのようにしてデータ連携基盤を構築していくのか？

答 デジタル庁の規格で作られたデータ基盤の基になるものが、既に50以上の自治体で稼働している。本市として認知症サービスを事業化していく中で、基本的には、既存のものを活用していく予定である。

地域活性化事業

まちづくり協議会が実施主体となる同事業では、令和5年度、11地区21の事業費を計上するものです。このうち、西岳地区まちづくり協議会が行う「西岳地区公民館いきいき環境整備事業」において、各自治公民館のトイレを洋式化する事業があります。

質疑・答弁

問 トイレを洋式化する予定の自治公民館の数は？

答 西岳地区の全11公民館のうち、既に洋式化されている3か所と、和式を残したいという1か所を除く7か所が予定されている。

芸術・文化振興関連

「芸術文化アウトリーチ事業」や「文化合宿誘致促進事業」などを計上するものです。

質疑・答弁

問 令和5年度における「芸術文化アウトリーチ事業」の実施計画は？

答 小学校21校、中学校10校、小中学校2校の計33校での実施を計画している。また、公演内容としては、ジャズバンド等の音楽や演劇に加え、児童・生徒から要望のあった落語も追加されている。

審査結果

全会一致で可決

意見・要望

婚活支援
婚活情報を市内外へ広報する際、あらゆるネットワークを使って情報提供を行うこと。

地域活性化事業

西岳地区が、独自に自治公民館のトイレを洋式化する取組を行ったように、自らの地域課題をしっかりと捉えた事業が各地区で取り組まれるよう、地域へのサポートを行いつつ、より一層の事業推進を図っていくこと。

芸術・文化振興

文化合宿誘致促進事業と芸術文化アウトリーチ事業を融合するなど、本市の新たな芸術・文化振興の可能性を模索すること。

質疑・答弁

質疑・答弁

総務委員会

12議案を審査しました

産業経済委員会

12議案を審査しました

畜産等バイオマス発電推進事業

本市のカーボンニュートラル推進計画は、2030年度温室効果ガス排出2013年度比52%削減及び2050年度温室効果ガス排出量実質ゼロを目標に掲げています。

そのため温室効果ガス削減に向けた施策のひとつとして、畜産業が盛んな本市の特色を生かし、畜産排泄物等を活用したバイオマス発電導入の可能性調査を実施するための費用を計上するものです。

質疑・答弁

問 業務委託はどのような事業者へ委託するのか？

答 プロポーザル方式により、畜産バイオマスに関するスキル等を有するコンサルタント事業者を選定する。

都城産宮崎牛生産基盤整備事業

肥育牛のストレスを低減し良質な牛肉を生産するため牛舎等に施す暑熱寒冷対策の取組と、肥育牛舎の飼養環境改良や増頭のための取組を支援するものです。

また、宮崎県の次世代を担う新

規種雄牛を都城から造成することにより、生産基盤の更なる強化を図るものです。

質疑・答弁

問 都城産新規種雄牛産子導入に関する経費について、導入をどれくらい見込んでいるのか。

答 30頭を見込み予算計上している。

まちなか活性化プラン事業

中核施設を中心に周辺商店街や中心市街地エリアを対象として、まちなかの魅力アップにつながるコンテンツを誘導し、回遊性向上を図るものです。

質疑・答弁

問 イルミネーション設置委託の事業目的は？

答 商店街組織及び市が官民連携し取り組んでおり、中心市街地、まちなかの活性化が事業目的である。

問 開催方法について再考しないのか？

答 商店街組織をはじめ中心市街地の民間事業者等にも参加を募り、中心市街地に新たな拠点の模索も含め検討していく。

審査結果

全会一致で可決

意見・要望

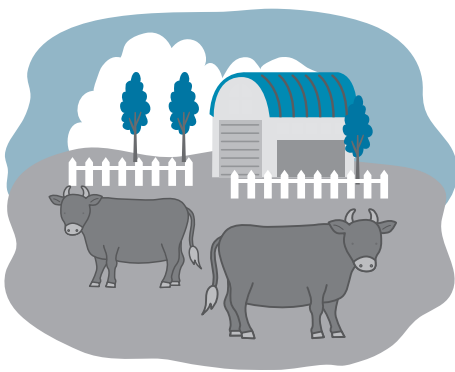
畜産等バイオマス発電推進事業

本委員会の9月定例会でも家畜排泄物の処理について要望したが、今後もし引き続き、本事業等の事業について強力に推進していくこと。

都城産宮崎牛生産基盤整備事業

昨年の全国和牛共進会では、宮崎牛としては内閣総理大臣賞を受賞しているものの、都城産牛の出品がなかったことは市町村別農業算出額が日本一を誇る本市にとっては寂しい結果であった。

今回の結果を真摯に受け止め、改善できるところは改善し、5年後の全国和牛共進会では、ぜひ都城産牛が県代表となり、日本一となることを期待する。



産業経済委員会の様子をYouTube配信しました!

3月定例会での産業経済委員会の議案審査の様子をYouTube(写真)でライブ配信しました。議案の内容や議員がどのような視点で審査を行ったのか、確認できます。



1日目



2日目



都城市議会 令和5年3月定例会 産業経済委員会

都城市小・中学校医療的ケア運営協議会条例

医療的ケア児への学校での適切な支援体制の調査や審議を行うための医師や看護師、弁護士などで構成する「小・中学校医療的ケア運営協議会」を設置するための条例です。

質疑・答弁

問 看護師は、必要な時間帯に派遣する『スポット派遣』だが、容態の急変が心配されるお子さんへの対応は？

答 受け入れるお子さんの現状や保護者の声を聞きながら、運営協議会で検討していく。

自由討議

医療的ケア児を含む多様な子どもたちが学校生活を送ることは、お互いに良い影響がある。保護者は仕事に復帰できる可能性もあるため、支援を進める必要があるという意見や、学級担任にとって安心で負担のない形にする必要があるという意見が出された。

審査結果

全会一致で可決

意見・要望

協議会の運営は、医療的ケア児やその保護者に寄り添った形で、一層の支援を行うこと。

避難行動要支援者個別支援計画策定事業

災害時に、自分で避難することが難しい障がい者や高齢者に対し、福祉専門職が個別に避難計画を作成する費用を計上するものです。

質疑・答弁

問 どのくらい計画が出来上がっているのか？

答 浸水被害が想定される区域から進めており、現在188件策定している。令和5年度は160件策定の予定である。

自由討議

危機管理課との連携など、具体的な動きを考えたり、実際に訓練をして試してみたりすることも大事ではないかという意見、実効ある動きにするために、個別支援計画と地区の防災計画とも連携させることが必要ではないかという意見が出された。

都城市郡医師会心臓・脳血管センター整備支援事業

都城市郡医師会病院が計画している「心臓・脳血管センター」の整備を補助する経費を計上します。この事業は国・県・三股町と連携

して支援するものです。

質疑・答弁

問 センターが整備されることで患者数がどのようになると想定しているのか？

答 医師会病院に搬送後、転送される件数が、令和元年度の1100件程度から、令和9年度には46%減の、60件程度まで減ると想定している。

問 総工費はどのくらいか？

答 12億9千390万円を予定。

審査結果

全会一致で可決

意見・要望

具体的な動きを確認するために、実際に訓練を行ったり、関係機関と検証を重ねるなど、実効性のある計画とすること。

都城市郡医師会心臓・脳血管センター整備支援事業

都城市郡医師会病院は、心臓・脳血管センターの整備により、さらに地域の医療を支える拠点病院としての役割が大きくなる。センター整備による財政的負担が増える中、安定的な運営を維持するため、小林市・えびの市・高原町にも運営に関する応分の負担を求めること。

都城市国民健康保険特別会計予算

AIを活用して、特定健診と大腸がん検診の受診率を向上させるための費用を計上するものです。

質疑・答弁

問 国民健康保険運営基金の残高は？

答 令和4年度の基金残高は、財源が不足する部分に対して1千87万3千円を繰入れ、約30億1千980万円となる見込みである。

問 国保税は、今後統一がなされた後に、この基金を活用していく見込みはあるのか？

答 統一された後の基金の活用は、まだ決まっていない。被保険者からの保険税を原資として積み立てているので、被保険者に有用な使い方ができるようにしていきたい。

反対討議

国民健康保険運営基金の残高が30億円を超える状況となっている中、子どもの均等割額を引き下げなどの、国保税引き下げの取組が成されていないため反対する。

審査結果

賛成多数で可決

文教厚生委員会

18議案を審査しました

請願審査

「高齢者の補聴器購入費助成制度の創設と特定健診に聴力検査の導入を求める請願書」

高齢者の認知症のリスクを高めることが明らかとなっている難聴について、補聴器購入費の助成制度を創設することと特定健診での聴力検査の導入を求めるものです。

質疑・答弁

問 特定健診で聴力検査を行うことは可能なのか。

答 聴力検査は含まれていない。

問 難聴と認知症等との関連は？

答 聴力の低下により認知機能低下など二次的な影響を及ぼす問題が考えられる。

継続審査

賛成少数で継続審査はしない。

反対討論

特定健診に聴力検査を入れることは困難である。実施市町村の助成後の活用状況の実態が見えないため反対する。

賛成討論

認知症の進行を遅らせるためにも、高齢者の補聴器助成制度は必要であるため賛成する。

審査結果

賛成少数で不採択

○常任委員会の審査状況○

3月14日・15日に予算や条例などについて審査を行いました。多くの意見が出された議案を一部紹介します。

建設委員会

7議案を審査しました

公園維持管理費

公園の植栽、清掃等委託や遊具の修繕に要する経費等を計上するものです。

質疑・答弁

問 遊具の点検で問題の204基のうち何基を修繕するのか。

答 危険度の高いものから修繕を行なっていく予定である。

橋りょう長寿命化修繕事業

全ての橋りょうは5年ごとに点検して、測量設計委託7橋と補修工事7橋の費用を計上するものです。

質疑・答弁

問 補修工事の中にPCBを含む橋りょうが3橋含まれているが、これ以外はないのか。

答 PCBを含む橋りょうが7橋あり、令和4年度末で4橋の補修工事が終了。今回、計画した3橋以外にはない。

技術検査費

公共工事に必要となる関係書類を電子化することに伴い導入した電子納品検査システムの保守点検の経費を計上するものです。

※PCBとはポリ塩化ビフェニル

質疑・答弁

問 導入実績はどのくらいあるのか。

答 令和4年10月からの運用開始のため、実績は工事写真のみが電子納品されている状況である。

空家等対策推進事業

適正に管理されず近隣に影響を及ぼし、居住に適さないものなどを対象に、相続人の調査や特定空家等の解体除去費の一部を補助する費用を計上するものです。

質疑・答弁

問 特定空家等の解体補助について何件見込んでいるのか。

答 特定空家は5件、不良空き家は10件を見込んでいる。

自由討議

解体補助については、居住誘導区域内に限ったものであるが、居住誘導区域外の空き家も対象にできないのかという意見が出された。

自由討議に対する再質疑

問 居住誘導区域外の不良空き家の解体補助について十分検討されたのか。

答 都市計画と連動し生活拠点区域の活性化と、人口流入を図るため、解体補助は居住誘導区域内に限定する。

審査結果

全会一致で可決

意見・要望

公園維持管理費

安全を守るため、1日も早い危険遊具の修繕をすること。

技術検査費

事業者の負担軽減及び事務の効率化を図れるよう体制を強化すること。

水道事業管路整備建設改良費

配水管整備費(9.5km)や、老朽管更新整備費(7km)を計上し、また川東浄水場については、令和4年度から令和14年度に更新工事を行うための継続費を計上するものです。

質疑・答弁

問 川東浄水場は、更新工事によって老朽化の部分は全て解消されるのか。

答 更新工事を行うことで耐震性のある施設になる。

審査結果

全会一致で可決

令和5年3月定例会の審議内容について

上程された議案数……【市長提出議案 61件 請願 1件】 全会一致で可決、承認、同意、議案数……【市長提出議案 57件】

賛否が分かれた議案の表決結果（採決日3月22日）

市長提出議案		赤塚	岩元	江内谷	榎木	音堅	神脇	川内	楠見	黒木	小玉	坂元	迫間	佐藤	杉村	筒井	徳留	中田	中村	成合	畑中	羽田野	広瀬	別府	森	綿屋	長友	賛成	反対	審議結果	
		隆志	弘樹	満義	智幸	良一	清照	賢幸	千穂子	優一	忠宏	唱子	輝昭	紀子	義秀	紀夫	八郎	悟	千佐江	円美佳	ゆう子	徳寿	功三	英樹	りえ	善明	潤治				
第15号	令和5年度都城市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	●	○		22	2	原案可決	
第16号	令和5年度都城市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	●	○		22	2	原案可決	
第20号	令和5年度都城市工業用地造成事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	●	○		22	2	原案可決	
第34号	都城市スマートシティ推進条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	●	○		22	2	原案可決	
請願番号																															
請願5第1号	高齢者の補聴器購入費助成制度の創設と特定検診に聴力検査の導入を求める請願書	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	●	欠	○	○	○	○	●	○	●	7	17	不採択

○ 賛成した議員 ● 反対した議員

議長のため表決には参加しない。

賛否の分かれた議案について

議案第34号 都城市スマートシティ 推進条例の制定

反対討論

個人のプライバシーと権利を侵害する重大な危険性があるから反対する。これらは、企業などの実施主体が住民の個人情報を一元的に管理する代わりに、医療、交通、金融などの各種サービスをまるごと提供しようとするものである。いま重要なことは、個人情報を保護しつつ、先端技術を住民福祉の向上にどう生かすのかという落ち着いた国民的議論と、プライバシー保護という時代の流れを視野に入れた中長期的な企業戦略である。本条例はプライバシー保護という観点欠如しているため、反対する。

賛成討論

本条例が、「個人のプライバシーと権利を侵害する危険性がある」と、問題を提起された。今回提出された、本市のスマートシティ推進条例は、令和3年に施行している「デジタル社会形成基本法」を基につくられている。したがって、本条例の危険性を指摘する場合、先に国の情報セキュリティが確かであるかどうか、というところまで踏み込んで議論する必要があると考える。本条例は、個人のプライバシーと権利を侵害する危険性はない、と考えるため本議案に賛成する。

議案15号 令和5年度都城市一般会計予算

反対討論

デジタル化推進事業は、今回デジタル田園都市国家構想交付金のデジタル実装タイプを活用した事業である。スマートシティ事業の第1弾とするマイナンバーカードを活用した、認知症の予防に取り組むことであるが、マイナポータルから取得した膨大な個人情報を匿名加工した上で本人の同意なく民間に渡し、企業はそれを使って事業を展開するものである。個人情報に関する権利をないがしろにする施策であるため反対する。また、今回の公共施設等スマートロック予約システム構築事業ではデジタル化から取り残される方が出てくるものとする。行政サービスでは「アナログも、デジタルも」行うことが大事であると考え、反対する。

反対
討論

基金が30億円以上あることから、この基金を活用して都城市独自で未就学児の国保税均等割の残りの部分を負担できるものとする。また、平成25年に「国民健康保険税の引き下げを求める請願書が採択されていることから払える国保税にする必要がある。統一がなされた後の基金の活用見込みについて現時点では決まっていなかったが、被保険者からの保険税を原資として積み立てているものであるため、被保険者に有用な使い方ができるようにしていきたいと考えている。」と答弁があった。国保基金を活用して早急に引き下げをすべきだと考え反対する。

賛成
討論

令和4年6月16日、定例会において当時の健康部長より「令和5年度までに、(保険税水準を)統一する保険税算定方式の決定を行うこととしております。現在、県及び県内市町村で統一算定方式決定に係る課題の協議を進めているところ」である、との答弁があった。国保税の県内統一についての議論は、令和5年度中にまとまる、とのこと。今、その議論の最中である。その動向を注視し、また、その中身を精査し議論を深めていくことが肝要かと考える。基金の取り崩しについても、県内統一の議論を注視した上で議論する事がよいのではないかと考える。国保税の被保険者の自然減の状況、災害等も念頭に置きながら議論を行っていくことが良いと考えるため、賛成する。

反対
討論

総事業は約58億円を見込み、一般会計からは今年度、各種設計、文化財発掘調査等に4億134万円を計上している。国の食料自給率が37%のもと、食料自給の基盤として、集団的な優良農地は基本的に保全していくことが必要であること、また、本来、行うべきは、地域に根を張って頑張っている中小・小規模企業を地域の実情に応じて支援することであり、物価高騰に対する取り組みこそ、今、求められている政策であることから反対する。

賛成
討論

地の利の良さを最大限に生かしたこの工業用地造成事業は、地域産業の発展のみならず、新規雇用の創出の場として期待するところであり、本市への移住者の雇用の場ともに、若者の流出を防ぐ対策としても大きな役割を果たすことになる。また、本市の目指す人口減少対策である「10年後に人口増加へ」目標に大きく寄与し、時期を得たものであると考えるため賛成する。

提案
理由

高齢者の認知症のリスクを高めることが明らかとなっている難聴について、補聴器購入費の助成制度を創設することと特定健診での聴力検査の導入を求めるものです。

賛成
討論

高齢者の難聴に対応する補聴器の購入助成などに踏み出す自治体が急速に増えおり、2021年7月の35市区町村から2022年末の123市区町村へと、わずか1年半で3.5倍に急増している。三股町と曾於市では令和4年度から実施されており、補聴器補助制度が話題になっている。聴力の低下は会話や他者とのつながりが減り引きこもりがちになる。認知症やうつ病の発症にもつながる恐れがあり、生活の質の悪化を防ぐための補聴器購入の助成を求めるものである。難聴者の割合が70代男性の5～6人に1人、女性で10人に1人程度と推測されるため、本市でも何千人もの方が難聴で悩んでいるということが推測できる。早期の発見・早期治療が大事なため賛成する。

反対
討論

加齢とともに聞こえにくくなり、難聴が続くと認知症のリスクが高まり、生活に支障が出ると言われている。補聴器は、高額なものになると30万円以上と購入できない方もいる。購入したくてもあきらめてしまう方の為にも助成金は必要と考えるが、困っている方は高齢者だけではないと感じる。また、一方で使わずに放置している方もいるとの声もあり、長く使っていたくても医師の診断が必要と考える。他の自治体の取組みを注視していく事が大切である。特定健診での聴力検査については、特定健診は生活習慣病の予防のための検診である。検診する医療機関では、殆どが専門外のため設備が整っていない。専門医での検査が重要なため、特定健診での実施は難しいと考え反対する。

反対
討論

市内83箇所の特定健診指定病院すべてに聴力レベルを見分けるための設備を備えることは難しい。また、本市65歳以上の高齢者5万人について過去の調査に基づき16.4%が難聴だとすると8000人ほどが該当することになる。仮に2万円の補聴器補助をすると1億6000万円が必要であり、補聴器の寿命である5年が経過するたびに1億6000万円を補助し続けるとすると、該当する高齢者が補聴器を装着できるように予算化するためには毎年3000万円以上の補助金が必要となる。本市では毎年、敬老特別乗車券、健康増進施設利用助成、長寿祝い金など高齢者に対する直接の補助を行っており、今後さらに補聴器補助を追加することは難しいと考え反対する。

賛成
討論

補聴器の補助の制度というのは聞く権利を守ることである。聞こえることはいろんな情報を入れることに対してとても重要な問題だから、1000名を超える方たちが署名している。必要であるのであれば通そう。そしてその先は市が考えることである。まず私たちがしなければならないのはこの請願に応えるかどうかだ。今までの議論だと補聴器は必要だという声があるのだったら請願に、賛成していただきたい。この補聴器購入については聞こえる権利を守るためのものである。1082名の思いにどう応えるのか、応えるために賛成する。

令和4年度都城市議会議会報告会

令和4年度 都城市議会 議会報告会

議長 長友 潤治

▶ YouTube 都城市議会公式チャンネル 🔍

↑
議会報告会の様子は
こちらから
当日見逃した方も、
後からいつでも
ご覧になれます。

ONLINE
議会報告会

都城市議会初

議会に寄せられたご意見と回答

給食費が無料になると、助かります！

給食費の無料化については、賛同する議員もいれば、財源の問題で慎重な意見の議員もいます。引き続き議会として検討してまいります。

野良猫が増えて困っています。

市では、野良猫に対し、公益財団法人どうぶつ基金が不妊手術を無料で行う「さくらねこ無料不妊手術事業」の行政枠に参加しています。この手術を行いたい時には、市の環境政策課に連絡し、お住まいの地域の公民館長の理解を得た上で、猫を捕獲し、手術を行う手続きを取ってもらい、手術後の猫の適正な管理をお願いしています。

議会運営委員会は3人会派での参加となると少数派には不利ではありませんか？

2人会派や無会派の1人が一緒になれば、交渉団体として議会運営委員会に出ることができます。

市内経済3団体から、議員削減等の要請書が提出されていましたが、議会はどのような判断を？

要請書について、議会運営委員会で協議を重ねているところです。定数削減には条例改正を伴い、議員間での合意形成も必要です。定数削減には一長一短あり、多角的な検討を重ねた上で、削減の是非や適切な人数についてあらゆる可能性を検討し、いずれかの折に経済3団体への回答ができればと考えています。

昨年1月の市議選の選挙公報を次の選挙までの間ホームページに掲載してほしい。

次の選挙の事前運動につながる恐れが高いためホームページへの掲載はできません。

チャットによる市民からの質問に、オンタイムで答えていただけて面白かったです！

議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度から中止してまいりました。令和4年度の報告会は、実際に開催できるようオンラインでの実施と決定し、2月13日(月)19時より、都城市議会公式YouTubeチャンネルで生配信しました。

アンケートへのご回答
ありがとうございました！

参加者の年代構成	40代……60%、30代・20代……各20%
参加者の男女比	男性……80%、女性……20%
参加者のお住まい	市内……70%、市外……30%
感想	とても良かった……50%、よかった……30%、あまり良くなかった……20%

女性や高齢者層の方々にもご覧いただける時間帯の設定や周知方法等、またアンケートの回収方法も含め、いただいたご意見をもとに、今後の課題としてまいります。



寄せられたご意見、ご質問等は、回答とともに議会ホームページに掲載しています。👉

1/25 (水) 日

都城西高校に お邪魔しました!

時間が
足りないくらい活発な
議論が交わされました

高校生との意見交換会



1月25日(水)、県立都城西高校の2年生との意見交換会を行いました。

都城西高校の授業の一環で行っている「探求活動」の中で調査研究した内容について、市政に関わりのあるテーマを研究している4つの班に対し、議員の意見やアドバイスを欲しいという趣旨で開催いたしました。

議員24名が4班に分かれて、「防災」「市街地活性化」「空家の利活用」「高齢者に住み良いまち」のそれぞれに、行政や議会は、どのようにアプローチしているかを話しました。

● 議員の皆さんと会話できて良かった。

● 空き家を利用したカフェやサロンを知らなかったので、見学したい。

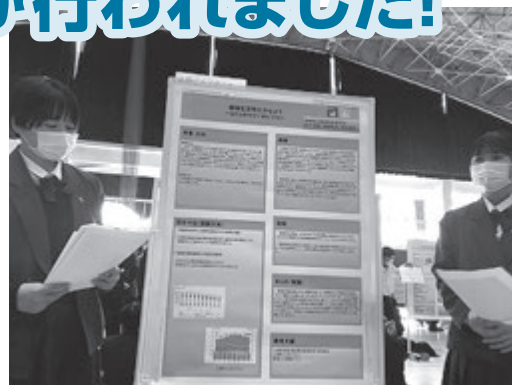
● 意見を聞き、考えが深まった。

● ヒントをもらい課題が見つかった。

● いざという時のために、地域で、また親戚同士でご高齢の方と、日頃からコミュニケーションをとっておくことが重要だ。

議員との意見交換会を経て 研究発表会が行われました!

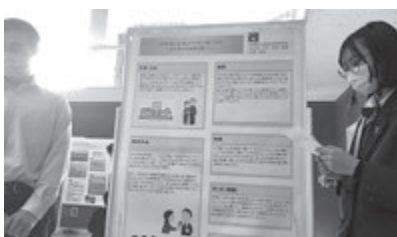
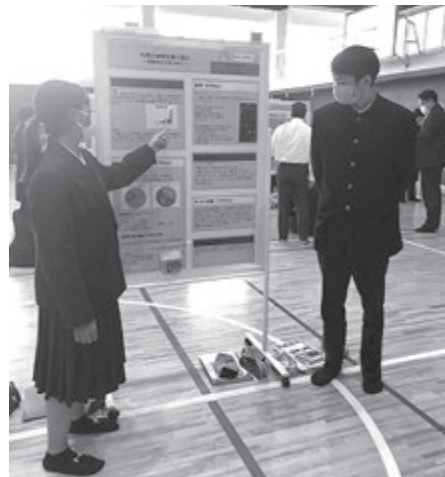
2/8 (水) 日



2月8日(水)、研究発表会が西高校体育館で行われました。

一年間の研究をまとめた結果について、45のグループがポスターセッション形式で発表を行いました。

1月25日(水)に行われた議員との意見交換会に参加した4グループの発表は、それぞれに、議員のアドバイスが活かされたものとなっていました。



令和4年度

令和5年1月18日(水)

都城市議会議員 曾於市議会議員 合同研修会

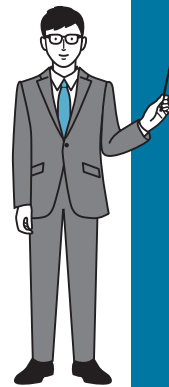
都城市と鹿児島県曾於市は、高校や職場、買い物、通院など、県境をまたいで、日常の生活圏、経済圏を共にしています。

都城志布志道路も、曾於市、志布志市と一丸となつて、要望活動を行っています。このような関係性から、都城市議会と曾於市議会は、平成31年1月29日(都城市)と令和2年1月22日(曾於市)の2回にわたり、合同研修会を開催してきました。

3回目の合同研修会は、令和5年1月18日(都城市)に、早稲田大学マニフェスト研究所の長内紳悟氏を講師として招き、開催されました。



研修のテーマ



- ・ 議員の役割と責務について
- ・ 議会の権限・調査について
- ・ 効果的な一般質問について
- ・ 討論・自由討議の在り方について等

講師による問いかけから始まった研修

- ・ 議長と市長のどちらが偉いか？
- ・ 会議を主催するのは議長。なぜ議会を招集するのは市長なのか？
- ・ 議会の定例会は誰が4回と決めているのか？
- ・ 議会の話し合いにどうしても必要な出席者は誰か？

議会の役割と機能について

- ・ 住民を代表する機能
- ・ 執行機関を監視する機能
- ・ 自ら政策を立案する機能

総務委員会 行政視察報告

総務委員会は「地域公共交通の現状と課題について」をテーマに調査を進めています。令和4年12月20日(火)えびの市と小林市へ、令和5年1月27日(金)鹿児島県志布志市へ行政視察に伺いました。

えびの市

タクシー利用助成事業について、利用状況は比較的良好ことや、当初想定していた地域とは異なる地域からのニーズが多いこと等、大いに勉強になりました。

また、吉都線の駅の管理状況について詳しく聞いた後、JR京町温泉駅、JR飯野駅に行きました。



えびの市、小林市両市へは吉都線を利用して訪問し、両市の皆様に喜ばれました。

小林市

市内高校生への通学費助成事業と、JR小林駅の開発の財源等について、また、高齢者の運転免許返納状況など、公共交通全般について、詳しい説明を受けました。

小林駅の駅舎は、線路内に立地するという珍しいつくりで、隣接する駅ビルを小林市が整備しました。駅ビルや駅舎も見学し、利用状況などについて説明してもらいました。



駅ビル2階のコミュニティスペース。貸切スペースとして会議や展示会などに利用されています。貸切時間以外は、フリースペースとして開放され、交通機関の待合いや勉強等に使われています。

志布志市

AIによる走行ルート自動設定のデマンド型乗り合いタクシー『チョイソコしぶし』が運行されています。事業導入までの経緯や運用方法、事業費などについて、詳しく説明してもらいました。



【募集するテーマ】

市内で開催された行事や、季節を感じる地域の行事など、市内の身近な風景などの写真

【応募資格】

都城大好きな方ならどなたでも!

【応募要件】

- ・他のコンテストとの二重応募は不可とします。
- ・応募者ご本人様撮影のものに限ります。
- ・応募者お一人につき、応募作品は3点とします。

【締め切り】

6月末日（8月15日発行分）

※注意事項

- ・ご応募のデータは返却しません。
- ・採用の結果は誌面への掲載を以て代えさせていただきます。
- ・採用者への賞金や賞品はありません。
- ・選考結果、経過など、審査に関するお問合せには応じられませんので、ご了承ください。
- ・掲載作品の著作権は都城市議会に帰属します。採用されなかった作品の著作権は帰属しません。
- ・人物が撮影されている場合には、応募者が責任をもって被写体ご本人に確認を行い、肖像権についてご承諾を得てください。権利侵害に関する申し入れは応募者が責任を負うものとします。



詳細な注意事項については、必ずこちらをご覧ください。



表紙写真を募集します!

いつも議会だよりをご覧くださいます。ありがとうございます。開かれた議会のために、市民の皆様により身近に感じてもらえる議会だよりを目指し、表紙写真を募集いたします。皆様のご応募をお待ちしております!!



ご応募はメールで!
議会事務局:

gikai@city.miyakonojo.miyazaki.jp
メールの本文にタイトル、連絡先（電話番号）、ご氏名、撮影場所、作品のコメントをご記入ください。

市議会だよりNO.37について、ご感想やもっと読みたくなるようなアイデアがあればお寄せください。

市議会だより No.36に (令和5年2月15日発行) 対するご意見

●ふるさと納税の都城市のお金の使い方は?

⇒寄付目的により、子ども支援、まちづくり支援、環境支援、スポーツ・文化振興支援、長寿支援、災害対策支援、人口減少対策支援等に使われます。

●都城市公園トイレの全てにトイレトペーパーを常備してほしい。

⇒いたずらや盗難防止の観点から基本、小さな公園には設置されていませんが、比較的大きな公園である早水公園、神柱公園、都島公園等には設置してあります。

●一般質問の内容は、「QRコード」を利用しないとわからないので、要点だけでも記載してほしい。

⇒先進地である茨城県取手市を参考に、質問内容の充実を図る上で、「QRコード」利用の貼付をしました。しかしながら、「QRコード」が利用できない、分かりにくい等のご意見を頂きましたので、今後さらなる工夫を検討して参りたいと思います。

●「中学生が議会傍聴」の感想文を読んで思うこと。

子供達は、本当に正しく良い所をキャッチしていて、素晴らしいと思いました。大人は、ともすると自分の感覚で判断して批判が多くなりますが、素直な受け取り方は見習いたいと思います。

▲点線に沿ってお切りください。

都城市議会への提言・疑問・質問等があればお寄せください。



皆様からいただいた市議会及び行政に対するご意見につきましては、今後も政策立案、政策提言等に活かしてまいります。また、行政に対するご意見・ご要望につきましては、市の各担当部署にも連絡いたします。

議会傍聴のご案内

本会議および委員会は、どなたでも傍聴することができます。本会議の傍聴席は市役所6階にあります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください

※傍聴に際しては、私語を慎み、携帯電話はマナーモードにするなど、当日お配りする「傍聴のお願い」をお守りください。

令和5年度6月定例会開催予定日

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土	
				6月 1日	2日	3日	
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	
11日	12日 開会・ 本会議	13日	14日	15日	16日	17日	
		← 休会(議案調査) →					
18日	19日 一般 質問	20日 一般 質問	21日 一般 質問	22日 一般 質問	23日 一般質問 議案の審議	24日	
25日	26日 委員会	27日 委員会	28日 委員長報告 整理日	29日 本会議・ 閉会	30日		

編集後記

大型連休では久しぶりの休暇を「みやこのじょう」で過ごされた方も多かったことと思います。「道の駅」都城NiQLL(ニクル)がリニューアルオープンし、地元のお土産を選ぶ帰省客でにぎわっていました。

今回の「議会だより」は、本議会として初の試みとなるYouTubeによる「オンライン議会報告会」や都城西高等学校の生徒の皆さんとの「意見交換会」など、盛りだくさんの内容となりました。

これからも、市議会に対する市民の皆様からのご意見をお待ちしております。



岩元弘樹 成合円美佳 楠見千穂子
綿屋善明 佐藤紀子 中村千佐江 音堅良一 森りえ
編集委員

監査委員は 佐藤紀子議員に 決まりました。



監査委員は、識見を有する人から2人及び市議会議員から1人の計3人が選任されています。

※申し合わせにより、議長・副議長・監査委員は、一般質問を行いません。任期は、議長、副議長が2年、監査委員が1年です。

都城市議会議員 の飲酒運転根絶 に関する決議

飲酒運転の根絶に向け取り組んでいる中、本市議会議員が飲酒運転を行った事は決して許されません。再発防止に向け、市議会として重く受け止め、真摯に反省しなければなりません。改めて市民の皆様並びに関係機関・団体の皆様に、深くお詫びを申し上げます。

私たちが都城市議会議員は、飲酒運転や危険運転等による交通事故の悲惨さを踏まえ、市民の願いである交通事故のない安全で安心して暮らすことができる社会を目指し、再発防止に万全を期し、全力をあげて市民の信頼回復に努めることを強く誓い、交通事故のない明るい社会づくりに努めていくことを決意するものとします。



POST CARD

料金受取人払郵便

8 8 5 8 7 9 0

都城市局承認
1349

差出有効期間
令和6年5月
31日まで

(切手不要)

都城市姫城町6街区21号

都城市役所 議会事務局 行

